

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

IoT × **AsReader**  Digital Transformation

事業計画及び成長可能性に関する
事項について記載した書面

株式会社 アスタリスク

2022年11月



◆免責事項

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

◆今後の開示

当資料のアップデートは今後、毎年11月末日を目途として開示を行う予定です。

1. 企業情報

- (1) 会社概要
- (2) 経営理念

2. ビジネスモデル

- (1) 事業内容
- (2) 連結業績推移
- (3) 2022年8月期の達成状況

3. 市場環境

- (1) 市場規模：バーコード
- (2) 市場規模：RFID
- (3) 市場規模：画像認識

4. 成長戦略

前期成長戦略の振り返り

- (1) 既存主力事業
- (2) 新製品の開発／販売
- (3) 営業力の強化
- (4) 海外展開
- (5) その他

5. 事業計画

- (1) 経営指標（KPI）
- (2) 事業計画の進捗状況
- (3) 上場における調達資金の使途

6. リスク情報

1. 企業情報



(1) 会社概要

会社名	： 株式会社アスタリスク	
設立年月日	： 2006年9月1日	
資本金	： 7億8,941万円（2022年8月31日現在）	
本社所在地	： 大阪市淀川区西中島五丁目6番16号	
事業所・営業所	： 大阪、東京、名古屋	
海外子会社	： 大連（大連事務所、深セン事務所）、ポートランド、ロッテルダム	
従業員	： 109名（連結計、2022年8月31日現在）（注）	
経営陣	代表取締役執行役員社長	鈴木 規之
	取締役	熊本 尚樹
	取締役	加藤 栄多郎
	取締役	山本 和矢
	社外取締役	辻本 希世士
	取締役（監査等委員）	石田 泰一
	社外取締役（監査等委員）	岩崎 文夫
	社外取締役（監査等委員）	山元 教有



代表取締役執行役員社長 鈴木 規之

(注)最近1年間の平均臨時雇用者数(パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む。)20名を含んでおります。

経営理念

ITを通じて、三方笑顔（お客様の笑顔/社員の笑顔/世間の笑顔）を創造し、人類・社会の進歩発展に貢献します

- 1、自己の良心をもって、信頼と安心を築き、三方笑顔を創造します
- 2、早さを追求し、スピードあふれる行動をもって、三方笑顔を創造します
- 3、新しいIT技術、斬新なサービスをもって、三方笑顔を創造します

アスタリスク人の宣言

- 1、プロとしての熱意！
- 2、徹底の徹底！
- 3、土俵の真ん中で相撲をとる！
- 4、時間軸を第一に！
- 5、目的、ねらい、コンセプトの明確化！
- 6、夢のある提案をし続け、固定客化！
- 7、何事も「数値」をもって行動！
- 8、常に明るく前向きで、楽しむことを工夫する！



2. ビジネスモデル



「モノ認識」と「モバイル」のアスタリスクです。

ITを通じて皆様の会社を笑顔にするお手伝い



人や情報、あらゆる物を認識する技術、それを「モノ認識」と呼んでいます。

“画像認識”や“バーコード”、“RFID”、“センサー”、“AI”などの技術を駆使した「モノ認識」と、スマートデバイス等の「モバイル」を活用することで、
多種多様な業態でDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現をサポートします。

モノ認識

主力商品

バーコードリーダー



RFIDリーダー



IrDA (自動販売機)



展開中

画像認識



AI



今後の取り組み

センサー



(1) 事業内容

国内、海外、大企業様で
続々導入して
いただいています。

流通



物流



製造



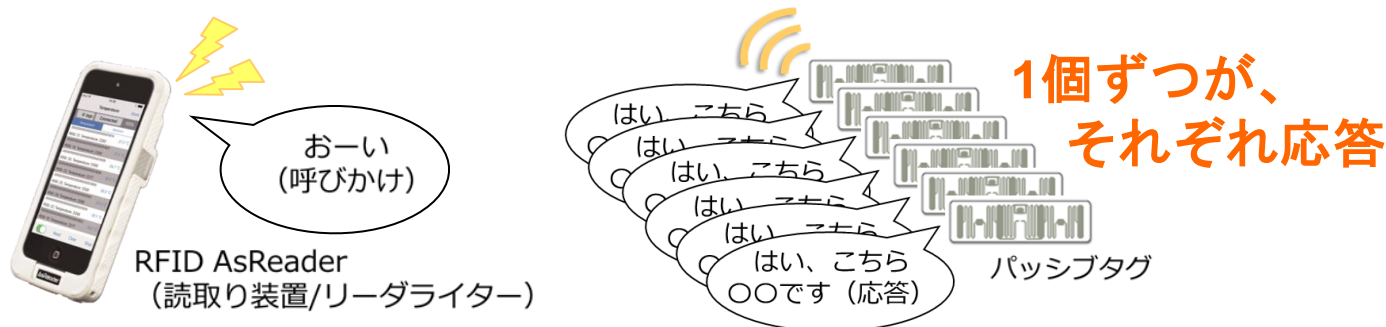
医療・介護



その他



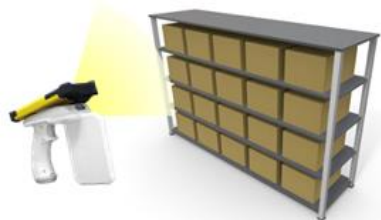
RFIDとは… 「Radio Frequency Identification」 の略
電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み書きするシステム
電波が届く範囲であれば、タグが遠くにあっても読み取りが可能



あらゆるモノにRFタグがつけられることで、
モノまたは人の様々な状況変化を的確に捉えることが可能となります。

非接触通信

遠くのタグも読み取れるので高いところのタグ等も読み取り可能！
作業時間の短縮はもちろん、
作業者の安全確保にも繋がります。



一括読み取り

複数の商品が入っていても一括での読み取りが可能！
バーコードのようにひとつひとつ読み取る必要がありません。



透過性

箱などを開けなくても読み取り可能！
作業効率が大幅にアップします。



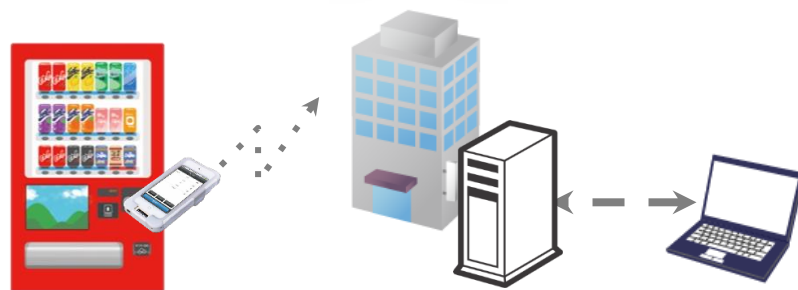
赤外線通信とは…赤外線を利用した近距離データ通信。
自動販売機内の販売情報を取り出す際に使用されています。

- ◆ 自動販売機設置事業者向けに特化した赤外線通信AsReader
自動販売機業界の販売情報を赤外線通信により読み取り、
取得したデータをインターネット通信回線を使用してサーバー等へ送信することが可能



＜実際の使用事例＞

自販機からの取得データを
直接、サーバー等へ送信。



リアルタイムで最新情報の確認が可能。

リアルタイムでデータ送信ができるなど今までの問題点を解決した上に、
迅速なデータ分析や顧客対応が可能に。
複数の大手飲料メーカー（ベンダー）や自販機オペレーター各社で導入され、
ハードだけでなく自販機設定用ソフトウェア開発もあわせてご提供しています。

AsReader 事業

AsReader® : 当社製品のブランド名

◆ 「自動認識技術を使った製品・サービス」の開発・販売

スマートフォンやタブレットなどに代表されるモバイル機器による業務改革をコンセプトに、モバイル機器に装着して使用するバーコードリーダーやRFIDリーダーなどのハードウェアの開発・販売を中心に事業を展開。



ハンディタイプ

GUNタイプ



iPhoneやAndroid等の
スマートフォンに装着し使用



AsReader 事業

◆ スtockビジネス

● 保守売上

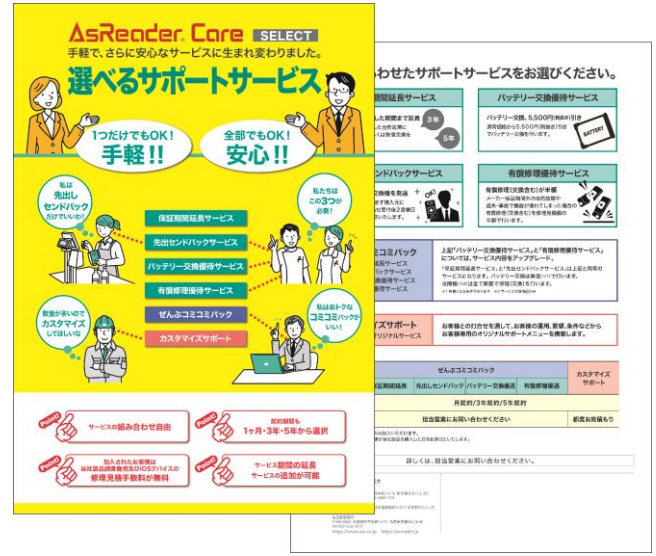
AsReaderの販売拡大に伴う保守による売上。
 (AsReader製品の長期保証サービス)が増加しており、
 2022年8月期保守売上実績は200百万円となりました。

● アプリライセンス売上

AsReaderの運用をサポートするためのアプリ「AsReaderApps」
 のライセンス使用料による売上。
 AsReaderAppsはAsReader標準対応の業務アプリになります。
 このアプリを使用しなくともAsReaderの活用は可能ですが、
 システム開発の必要がなく、すぐに導入・運用が可能となります。
 2022年8月期アプリライセンス売上実績は20百万円となりました。

● 新製品『AsReader GoMA』

顔認証で扉の鍵を開く新製品になります。
 2023年8月期中に販売を開始。継続課金モデルでの展開を予定し
 ております。



【Apple社認定商品：MFi】

フルスペル：Made For iPhone, Made For iDevices

読み方：エムエフアイ

別名：Apple MFi

MFiとは、AppleのiPhoneやiPod向けにサードパーティが製造した周辺機器（アクセサリ）類のために用意されたAppleの認可制度およびロゴの呼び名である。



AppleはiOSデバイスの周辺機器を製造販売するサードパーティ向けに一連の技術資料を提供している。これらの仕様に準拠した製品は審査を経てMFiに認可される。MFiは、所定の性能や品質基準を満たした製品であるという保証と位置づけられるため、サードパーティ製品とはいえある程度の信頼性がある（粗悪品ではない）



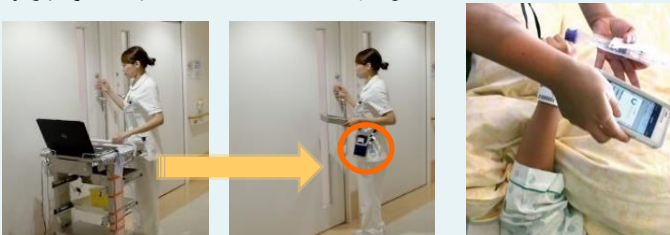
と判断できる。多くはAppleの正規品よりは廉価であるが無認証の製品よりは高めの価格帯で販売されている。

【電波法（RFID）】

（1）ユーザーの免許

（2）機器メーカーの免許（構内無線局及び特定小電力無線局）

- ・技術基準適合証明（技適） 国内では、RFID機器は一部の無線局を除き、無線機器扱いとなり、指定の機関で電波法令 で定めている技術基準に合致した機器であることを証明することが義務付けられている。
- ・工事設計認証（型式認定） 高周波利用設備機器対象のRFID機器は、工事設計認証（型式認定）を受けることで、ユーザは 総務大臣の設置許可なしに設置が可能となる（同一製品の大量生産時に有効）。
- ・微弱無線局 発射する電波が著しく微弱な無線局は、電波法令で規定された以下の電界強度値が指定された機関の証明があれば免許なしで設置することができる。 但し、電力伝送が必須なRFIDでは 交信距離が短い。

業界	利用シーン
小売業界	<p>POS（「Point Of Sales」（販売時点情報管理）の略）レジや発注業務、在庫管理などで利用されております。</p> 
物流業界	<p>配送管理の現場で導入され、リアルタイムで配送状況の把握や受領証などの書面を電子サインによる電子帳票化などに利用されております。</p> 
医療業界	<p>看護業務での3点照合（担当看護師、患者のID、薬剤）や、薬剤のピッキングなどに利用されております。</p> 

業界	利用シーン
自動販売機業界	<p>自動販売機設置事業者向け赤外線通信リーダーを開発、リアルタイムでデータ送信することにより、迅速なデータ分析や顧客対応に利用されております。</p> 
製造業界	<p>在庫管理、新車搬入管理、生産ラインの点検、部品の調達から廃棄までの追跡などに利用されております。</p> 

システムインテグレーション事業

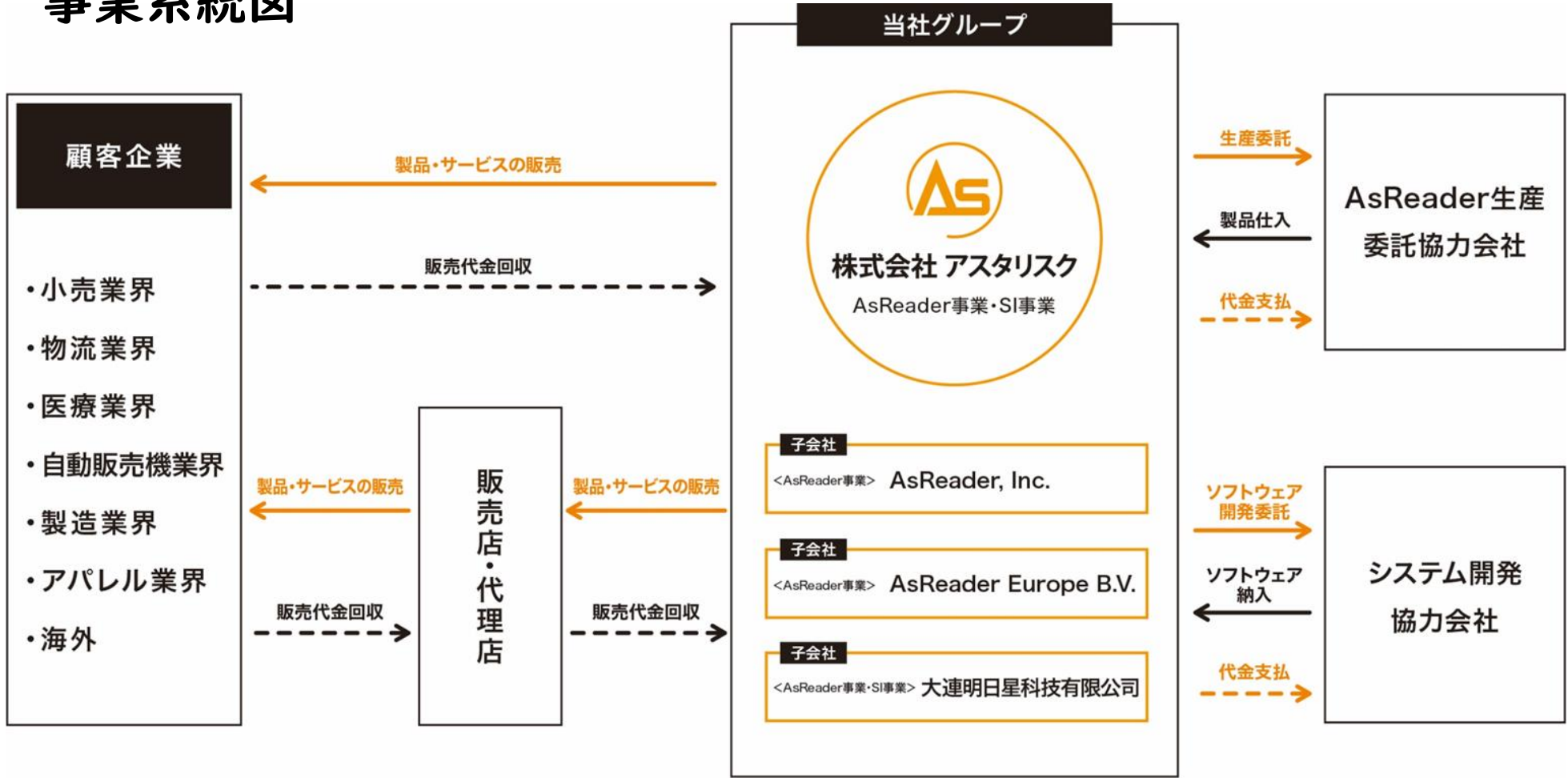
- ◆ ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせて、ユーザーに最適なシステムの構築を推進

モバイル端末で使用するアプリケーション及びネットワークなどを連携させ一体化することで、業務のスマート化を推進し、業務の効率化に貢献しております。

また、当社グループが提供したアプリケーションやシステムについて、運用・保守・管理も実施しております。



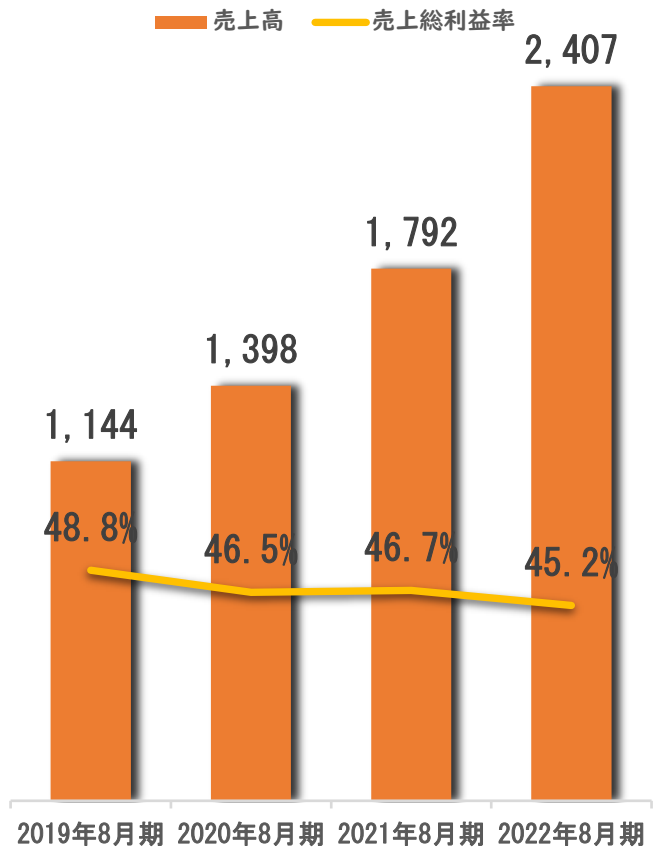
事業系統図



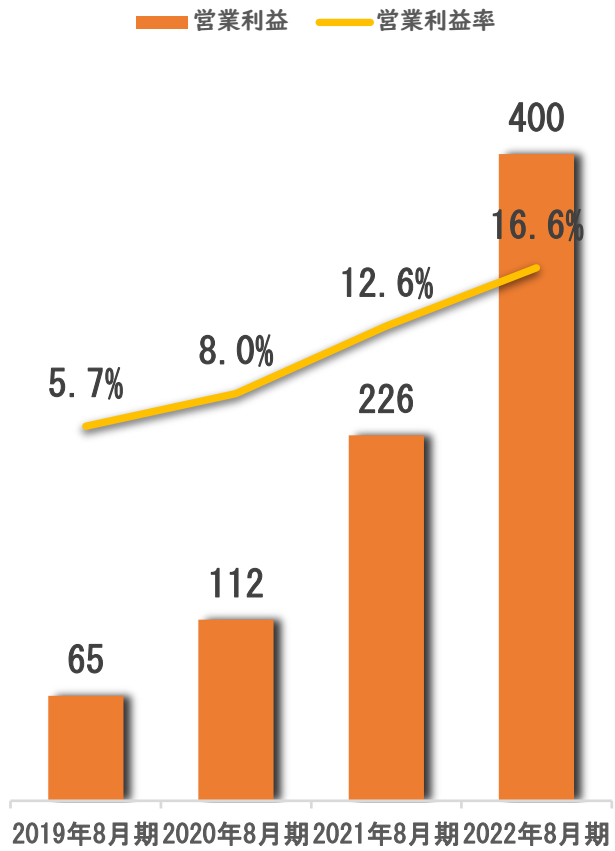
【連結業績推移】

(単位：百万円)

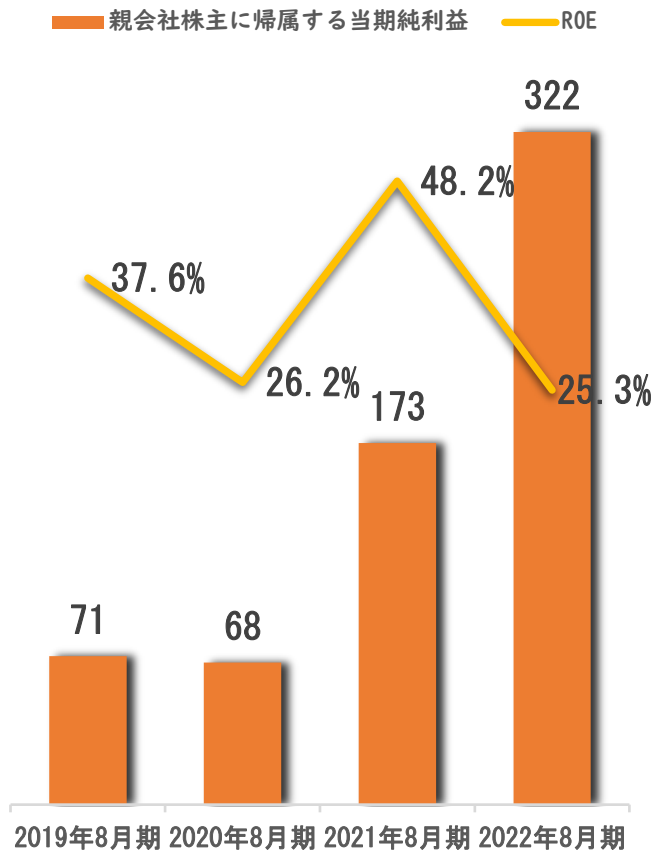
■ 売上高・売上総利益率



■ 営業利益・営業利益率



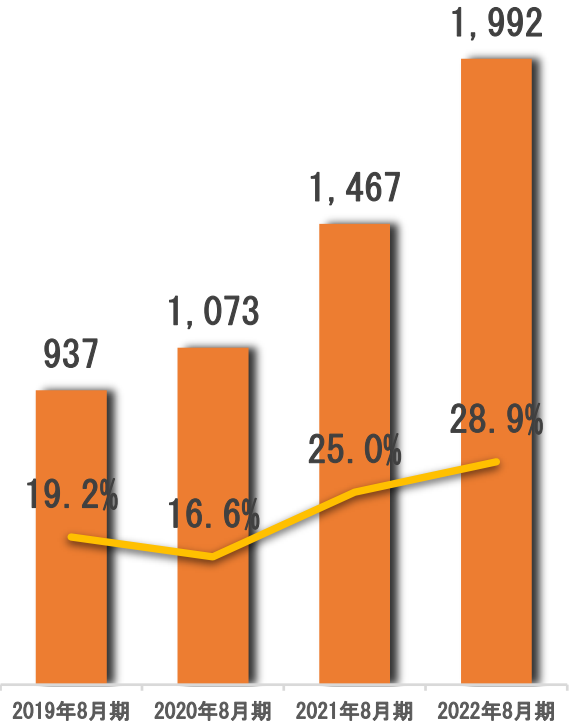
■ 親会社株主に帰属する利益・ROE



【連結業績推移ーセグメント別ー】

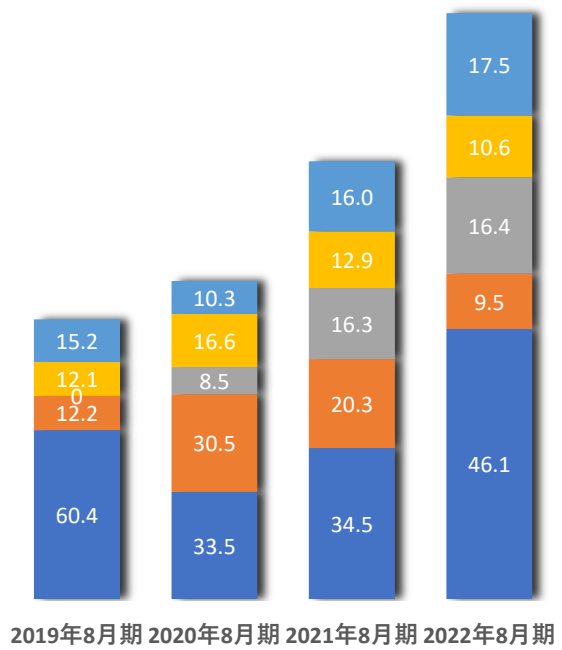
■ AsReader事業

売上高 セグメント利益率



(参考)機種別販売割合

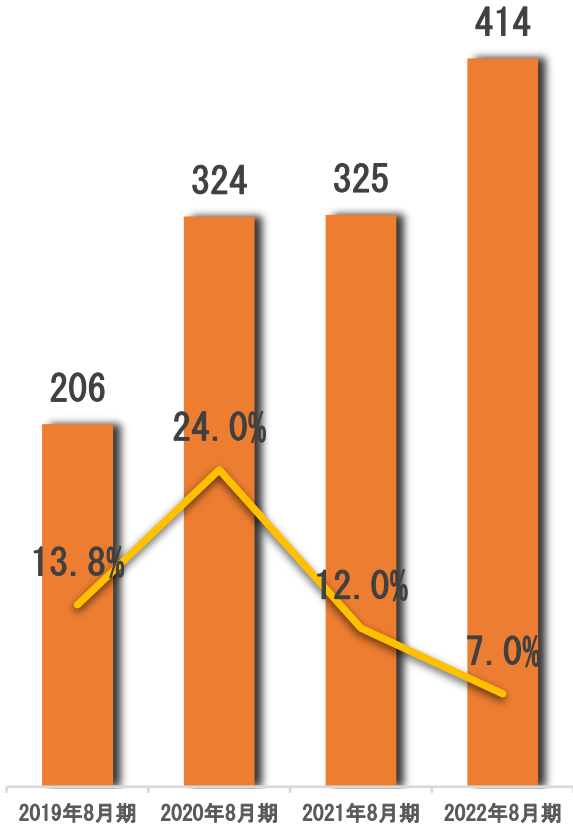
■ バーコード ■ RFID ■ 赤外線通信
■ 保守 ■ その他 (単位: %)



(単位: 百万円)

■ システムインテグレーション事業

売上高 セグメント利益率



【連結業績推移－2022年8月期の達成状況－】

(百万円)

	2021年10月14日発表 2022年8月期業績予想	2022年8月期 (当期実績)	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	業績予想 達成率
売上高	2,508	2,407	▲ 101	96.0%
売上総利益	1,161	1,087	▲ 74	93.6%
売上総利益率	46.3%	45.2%		
営業利益	387	400	13	103.2%
営業利益率	15.5%	16.6%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	260	322	62	123.9%
当期純利益率	10.4%	13.4%		

■売上高

医療業界向け案件の遅延等があったものの、海外飲料メーカー向けの納品が2022年8月期中に完了したことや、RFID関連や防水ケースの特需に支えられ、業績予想を101百万円下回る結果となりました。

■売上総利益

円安による影響、システムインテグレーション事業の不採算案件の発生により売上原価が高騰することとなりましたが、業績予想を74百万円下回る結果となりました。

■営業利益

販売費及び一般管理費の未消化により想定よりもコストが少なく着地したことにより、業績予想を13百万円上回る結果となりました。

■親会社株主に帰属する当期純利益

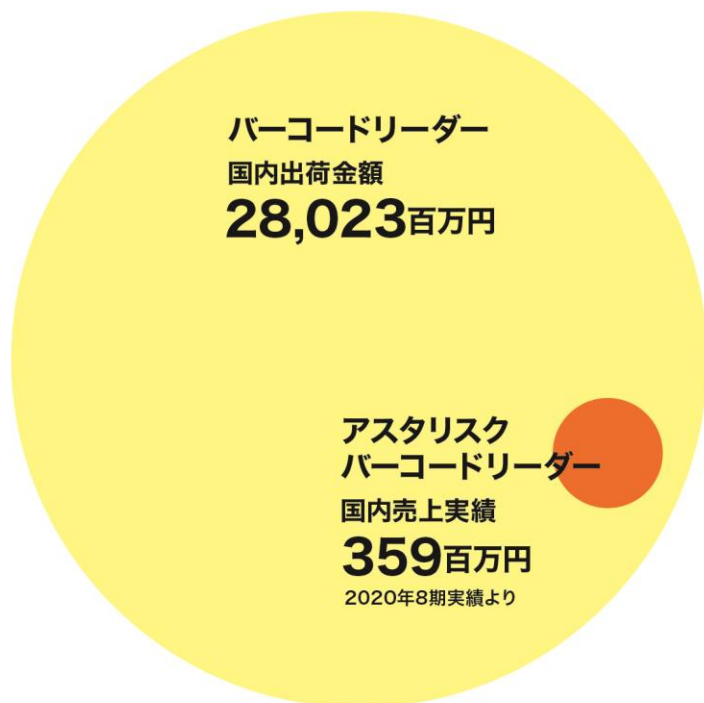
為替差益が発生したことにより経常利益が改善。業績予想を62百万円上回る結果となりました。

3. 市場環境



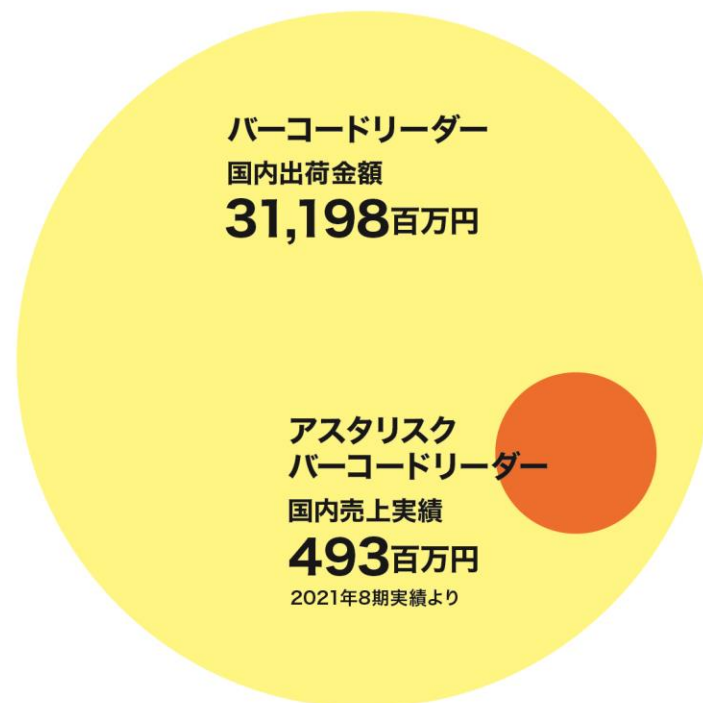
- バーコードリーダー市場は2021年度は**311億円の市場**があり約11%の成長。
大きな成長は見られないものの、**安定した規模で推移している**。
- 当社**国内バーコードリーダー売上実績**も約**37%増**と順調に伸びております。

2020年度
バーコード市場実績



2020年実績
一般社団法人自動認識システム協会
自動認識市場調査報告書より

2021年度
バーコード市場実績



2021年実績
一般社団法人自動認識システム協会
自動認識市場調査報告書より

ハンディ型バーコードリーダー

スマートフォン利用型が拡大

競合する「専用機」

大企業から中堅企業まで
小売、物流、医療、製造
などで広く利用

スマートフォン 利用型

取り扱っているのは
世界でも数社

主にカメラ利用型
もしくは無線型
(Bluetooth接続)

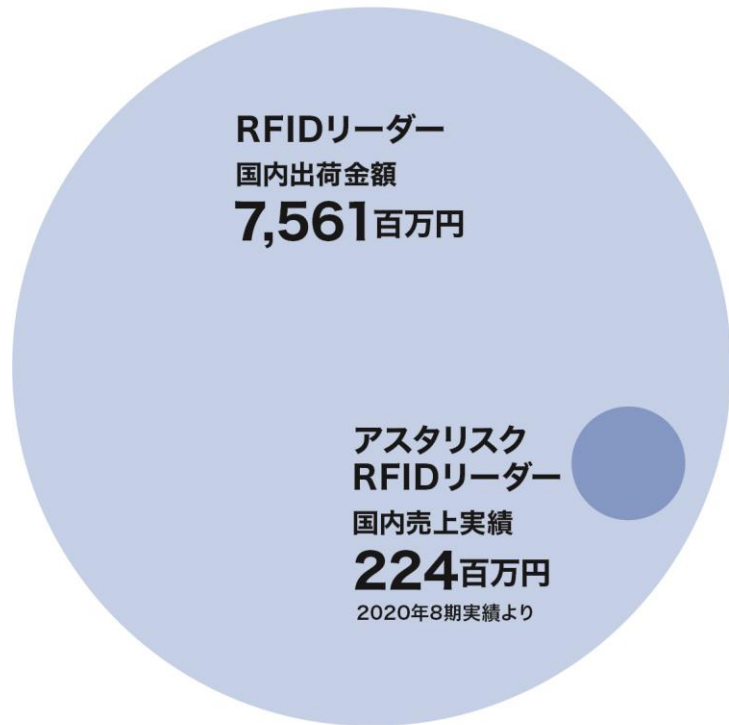
AsReader[®]
スマホ一体型

<当社製品が選ばれる理由>

- ・スマホとの一体型のため安定したデータ移管が可能
- ・小型、薄型 高速読取
- ・複数での一斉作業が可能
- ・タッチスクリーンによる操作性
- ・カメラ機能、メール機能などの業務利用が可能
- ・アプリの自由な開発が可能

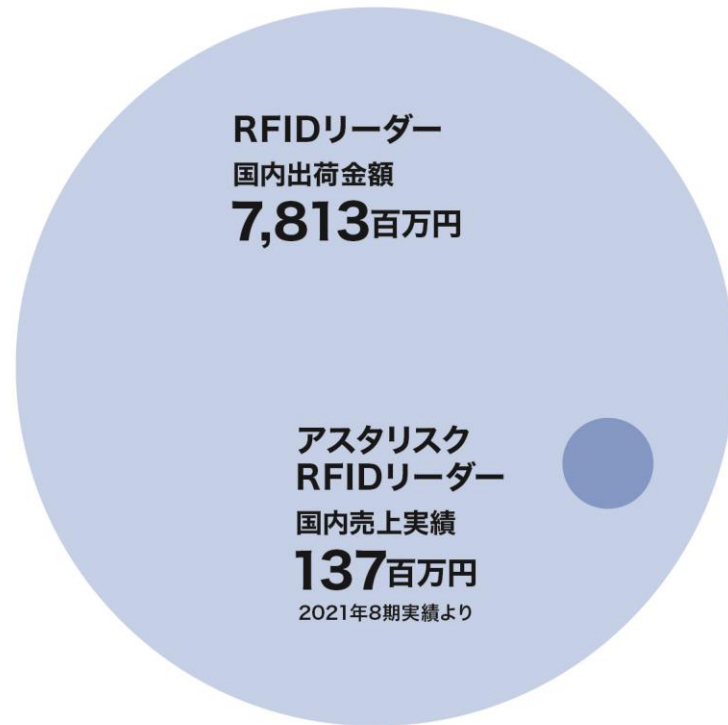
- RFID市場は2021年度は**78億円の市場**があり約3%の成長。
大きな成長は見られないものの、**安定した規模で推移している**。
- 当社**国内RFID売上実績は約38%減**。さらなる案件獲得努力を行ってまいります。

2020年度
RFID市場実績



2020年実績
一般社団法人自動認識システム協会
自動認識市場調査報告書より

2021年度
RFID市場実績

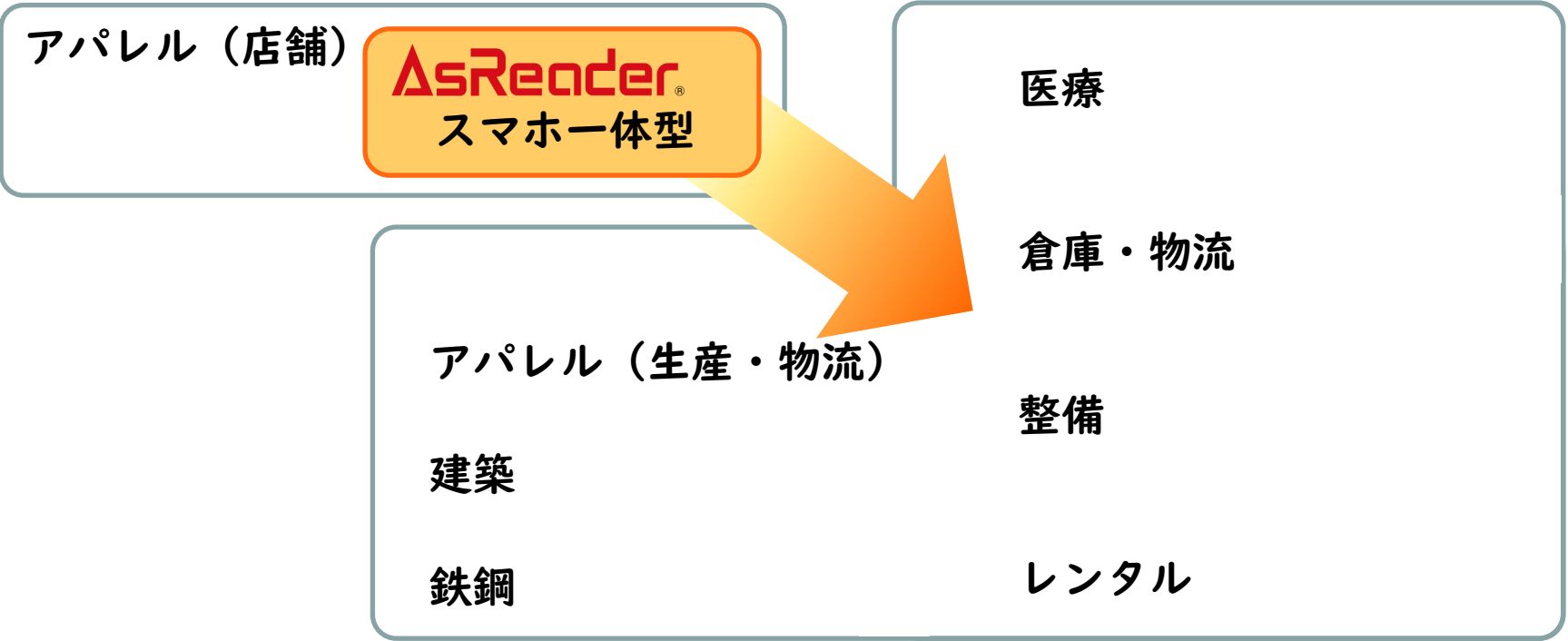


2021年実績
一般社団法人自動認識システム協会
自動認識市場調査報告書より

RFIDリーダー

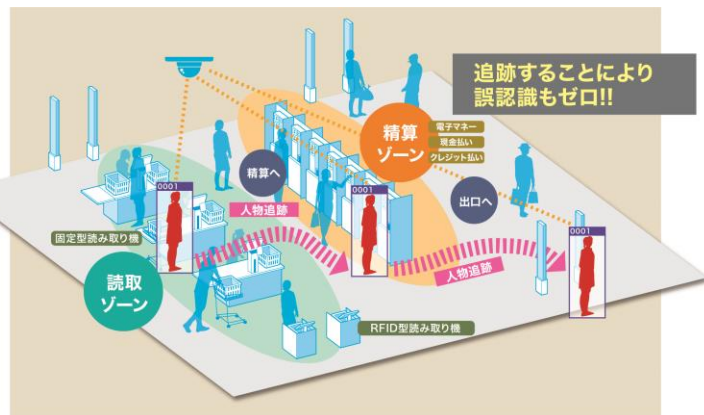
日本ではメーカーは少なく、海外メーカーの製品が主流。
バーコードリーダーと同様スマホ利用型の拡大が見込まれる。
スマホ一体型のRFIDリーダーは当社のみ。

<業界別>



■AIを活用した画像認識市場の中期予測では、2022～2026年度は年平均33.4%増の市場成長が見込まれます。

■当社製品としては、人追跡（人検出・動体追跡）技術や顔認証技術を活用した製品を展開して、同市場へ製品を展開してまいります。



顔認証で手ぶら解錠

自分のスマホで顔登録するだけ

取り付け簡単

履歴の管理もできます

顔認証の「AsReader One」がスマートロックの「SESAME」の施錠機能をコントロール!

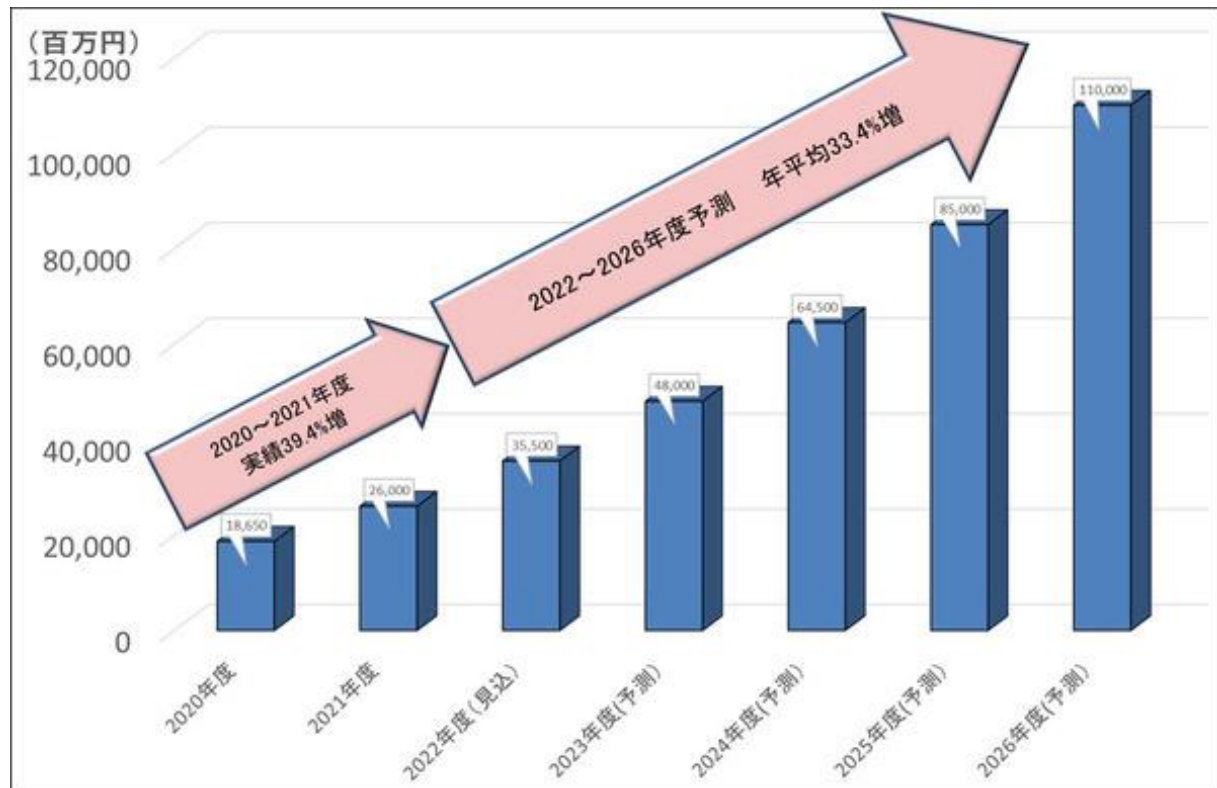
AsReader + SESAME
撮影および認証装置 スマートロック

自動ドアや、既存の電気錠との連携も可能

1秒以内で認証

マスク・メガネも対応

写真や映像などでは、認証不可なので安心



AI（ディープラーニング）を活用した画像認識市場の中期予測（2020～2026年度）
（出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所）

※2021年11月開示資料では世界市場を示しておりましたが、今回の新製品が国内市場向けのものとなり、国内市場を記載することが有用であるものと判断し、今回の資料では国内市場の情報を掲載しております。

4. 成長戦略



2022年8月期 成長戦略

(1) 既存主力事業の強化

既存製品である各種リーダー類の拡販を実施。
主に海外向けバーコードリーダーの納品が進み、売上高を伸ばす結果となった。

(2) 新製品の拡販

画像認識ソリューション（人追跡関連）新製品をリリース。2022年8月期においては当社業績への貢献度は少ない結果となりましたが、今後、継続して拡販を進めてまいります。

(3) 営業力の強化

大手キャリア様との協業が継続して当社製品の大きな販路となっております。

(4) 海外展開

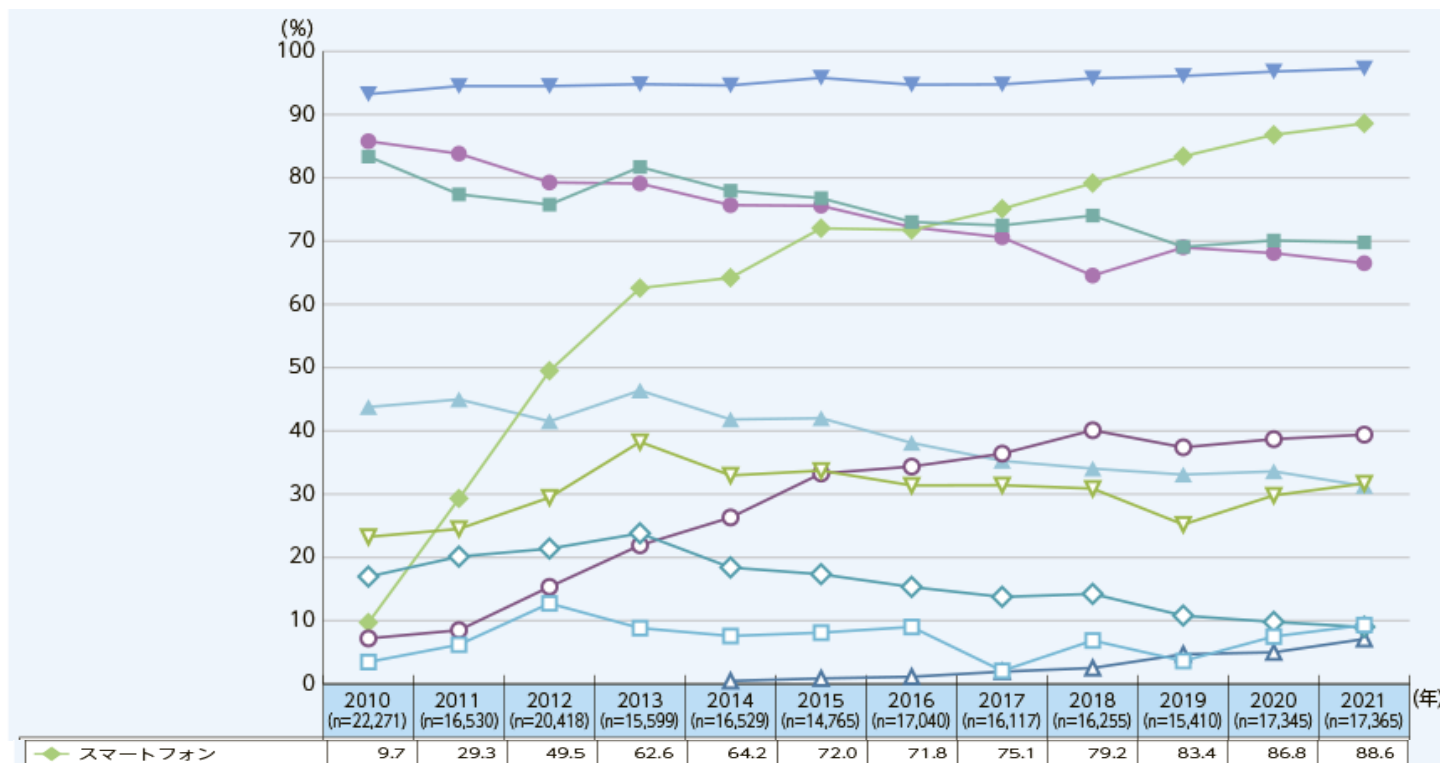
海外大手飲料メーカー向けバーコードリーダーの納品が、当初予定よりも遅延はしたものの、2022年8月期中に無事に納品完了。この大手企業への導入を機に、製品への信頼も増し、これまでよりも多くの引き合いをいただいております。

① スマートフォン装着型リーダーの優位性

従来の専用機では特定の業務でしか使用できなかったが、スマートフォンを利用することで1台で複数の機能を使用することができ、さまざまな業務への活用が可能である。

スマートフォン普及率の増加に伴い、スマートフォンを活用した当社製品の導入可能性も高まっている状況にあります。

また、専用機より安価で入手できる点や操作性に優れている点もメリットとなっている。



(出典) 総務省「令和4年 通信利用動向調査」 情報通信機器の世帯保有率の推移 より

①スマートフォン装着型リーダーの優位性

<スマートフォン>

スマートフォンが
選ばれる理由

<ハンディターミナル>

一般的なスマートフォンは
流通量が多いので単価が安い
修理も取り扱いが多く安い
社用携帯をそのまま使用できる

コスト



少数生産のため、高額
メンテナンス費用が割高
取り扱いが少ないため、
修理も高価になる傾向がある

使い慣れており、直感的に操作可能
研修が不要
画面も大きく、入力ミスも削減
タッチスクリーンでの操作が可能

操作性



専用作業的には使いやすいが、
操作を覚えるのが大変
レガシーな物理ボタンでの操作

カメラ・メール・SNSなど1台で解決
スマートフォンの機能を使った
セキュリティも安心
発展性も期待できる

性能



業務専用に特化
拡張性に難がある
バージョンアップやアップデートが
あまり行われな

OSのバージョンアップや
機能改善にあわせて発展可能

将来性



メーカー独自のOSも多く、
自由な開発がしにくい
専用アプリの開発ベンダーも限られる

流通量が多いので、修理できる
販売店も多い

保守

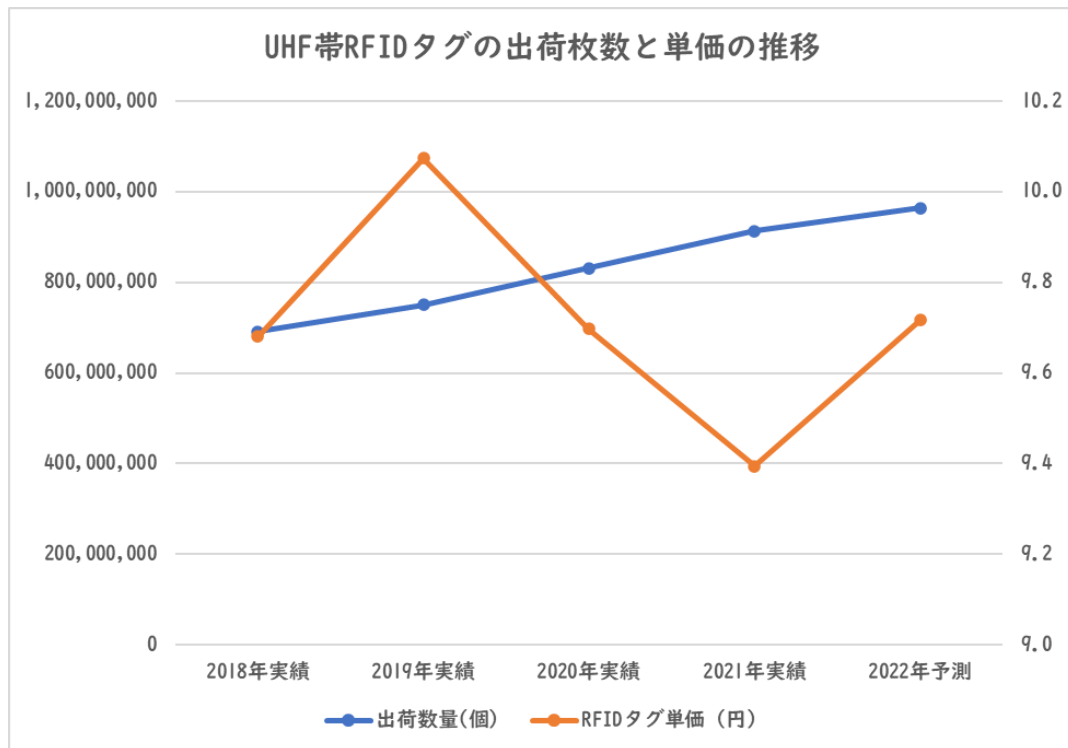


修理できる販売店が少ない
導入台数が少ないことが多く、
1台故障すると業務が止まる

業務専用機が続々とスマートフォンに置き換えられています！

②RFID化の流れ

RFIDタグの単価は、現在10円/枚前後で価格は安定しているものの、政府主導のRFIDの実証実験が展開されており、発行枚数の大幅な増加とともにタグの低価格化が進み、RFIDを利用した業務の自動化・効率化のニーズが高まるものと予想しております。



出展：一般社団法人日本自動認識システム協会

経済産業省は、2017年4月にコンビニ各社と「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」を、2018年3月に日本チェーンドラッグストア協会と「ドラッグストアスマート化宣言」2021年3月に「スマートストア実現に向けた電子タグ（RFID）実装へのアプローチ」を策定し、各種運用実験を進めている。



2019年2月12日より、電子タグを用いた情報共有システムの運用の実験を開始

③RFIDの製品開発

特許製品等（出願中含む）独自製品を多数展開

- ◆ かごを置くと中のタグだけを確実に読み取るRFID専用レジ台

レジでの効率化、
人件費の削減はもちろん
商品の入出庫管理などに
レジ以外にも幅広く
利用可能



特許取得・譲渡済

※参考ページ参照

- ◆ 世界初の伸縮タイプのRFIDリーダー



倉庫上段などの
高所にある商品を、
地上から手軽に
読み取ることが可能

特許出願中

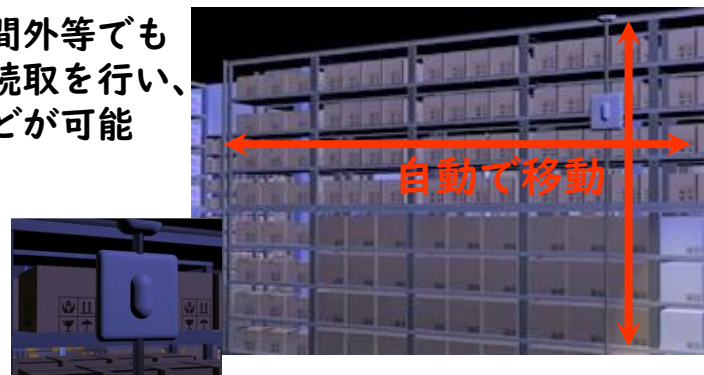
- ◆ RFIDゲート

箱の中の製品に貼付された
タグの方向が不規則でも、
確実に読取ることが可能
読取精度が格段に向上



- ◆ 動くアンテナ

営業時間外等でも
タグの読取を行い、
棚卸などが可能



特許出願中

◆2022年8月、2022年10月に資本業務提携を実施

今後の新製品開発など協業可能な企業との資本業務提携を実施。
双方の知見を活かした新しい製品の開発と社会実装に向けた活動を進めてまいります。



◆画像認識ソリューション - スマートホーム分野

CANDY HOUSE JAPAN株式会社スマートロック「SESAME」と、アスタリスクの顔認証システム「AsReader One」を組み合わせた、「顔で扉を開ける」ソリューション「AsReader GoMA」を発表。2023年1月からリリース予定。



顔認証で手ぶら解錠
自分のスマホで顔登録するだけ
取り付け簡単
履歴の管理もできます

顔認証の「AsReader One」がスマートロックの「SESAME」の施錠機能コントロール!

AsReader 撮影および認証装置 + SESAME スマートロック

自動ドアや既存の電気錠との連携も可能
1秒以内で認証
マスク・メガネも対応
写真や映像などでは認証不可なので安心

The image shows a smart lock with a camera and a screen displaying a face. It is surrounded by various callouts and icons explaining its features.

◆さまざまなキャリアやスマートフォンメーカーとの協業

2022年8月期においても、大手キャリア様との協業による当社製品の拡販を行ってまいりました。2023年8月期も引き続き大手キャリア様との協業体制を強化してまいります。

またAndroid関連製品にも力を注ぐべく、Androidスマートフォンメーカーとの協業体制の強化も行ってまいります。

海外拠点

アメリカ・欧州に販売拠点を設置し、海外でも積極的に販売展開を推進



- 2012 /5 中国・大連市にモバイル端末用システム開発拠点として、大連明日星科技有限公司を設立
- 2015 /1 米国・カリフォルニア州にAsReader, Inc. を設立
- 2017 /10 中国・深圳市に研究開発の技術センターとして大連明日星科技有限公司深セン分公司を設立
- 2018 /2 オランダ・ロッテルダムにAsReader Europe B.V. を設立

海外での成長要因・競争優位性

大型案件の受注による水平展開

◆ 大手飲料メーカー

大手飲料メーカーで商品管理用としてバーコードリーダーを導入



◆ 警察

IDカードのバーコード読み取りによる個人管理と入退室管理で使用



◆ 国際宇宙ステーション

国際宇宙ステーション内で備品がそろっているかのチェック、モノ探しにGUNタイプのAsReaderを使用



◆ 牧場でのLF帯RFIDリーダーライター

耳にLF帯のICタグ



牧場で家畜の個別識別管理に活用

◆ 消防署

欧州域内の鎮火後の消火現場での備品管理用として使用
世界最大規模の消防車開発会社で、製造されている消防車にパッケージされた形で展開



◆社員の給与平均3.4%のベースアップを実施！

昨今の物価上昇への対応、優秀な人材の確保と社員のモチベーション向上を図り、お客さまへの更なるサービス向上に努めるため、2022年10月にベースアップを実施いたしました。



5. 事業計画

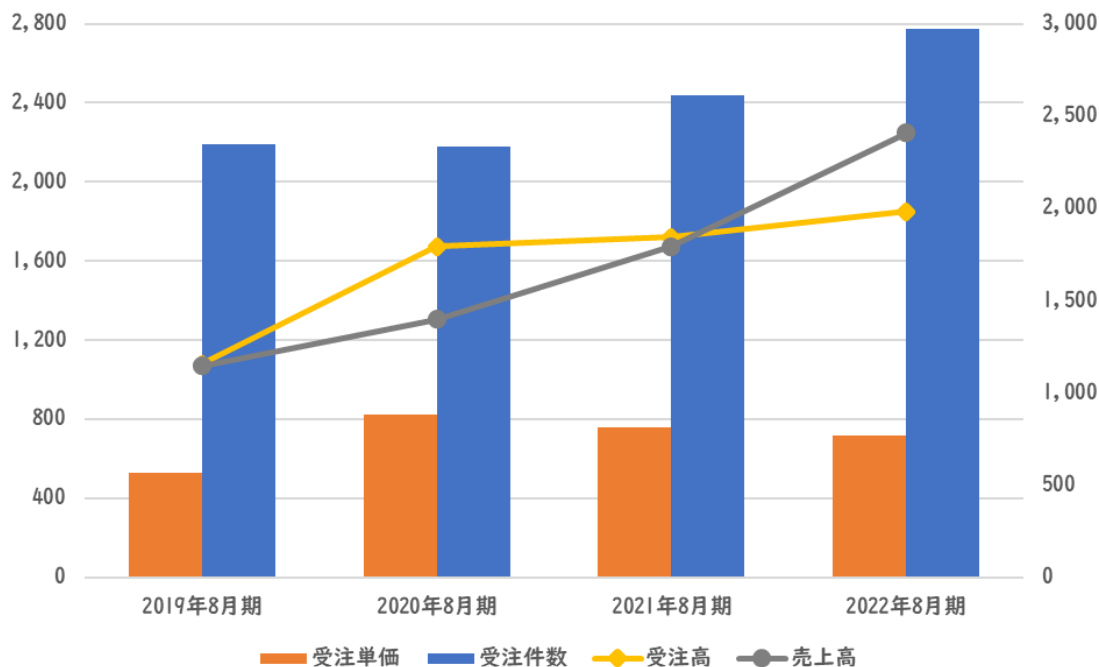


当社グループでは受注高をKPI(Key Performance Indicators)としております。

当社グループ製品に対する将来需要を表す尺度であり、将来業績の先行指標として機能し、今後の経営成績と強い関連性があります。将来業績にとって重要な指標であり、事業活動におきましても常に受注高を意識して行動し、当社グループの業績評価の指標としています。

受注高=受注件数×受注単価(注)であることを常に念頭におき、「受注件数」をいかに増やし、「受注単価」をいかに上げるかを、営業活動の行動規範としています。また、これら構成要素を分析して、現状認識、課題確認、戦略立案に活用しています。

受注件数・受注単価・受注高・売上高



■2022年8月期は、前期比で次のとおりになりました。

- ・受注単価 前年比△ 5.5%
- ・受注件数 前年比+13.8%
- ・受注高 前年比+ 7.4%

営業力強化による既存製品の受注獲得が順調に進んだことにより、受注件数及び受注高は前年比増加の結果となりました。

受注単価は前年比減少の結果となりましたが、大型案件のみを狙う戦略を採っていないこと、また大幅な減少ではないことから、当社の成長に与える影響は無いものと考えております。

(注)受注単価：受注高÷受注件数により算出される、平均受注単価になります。平均受注単価を追うことにより、当社グループの獲得案件についての分析(案件の大型化・小型化など)を行うことに活用しております。

【損益状況】 2022年8月通期

	2021年8月期 (前年実績)	2022年8月期 (当期実績)	(前年同期比)		(ご参考) 2021年10月14日発表 2022年8月期業績予想	
	金額	金額	増減額	増減率	金額	予想 達成率
売上高	1,792	2,407	614	34.3%	2,508	96.0%
売上総利益	837	1,087	249	29.8%	1,161	93.6%
売上総利益率	46.7%	45.2%				
営業利益	226	400	173	76.6%	387	103.2%
営業利益率	12.6%	16.6%				
親会社株主に帰属する 当期純利益	173	322	148	85.5%	260	123.9%
当期純利益率	9.7%	13.4%				
1株当たり 当期純利益(円)	33.96	46.82	12.86	37.86%		
人件費	295	314	18	6.2%		
減価償却費	41	18	▲ 22	—		
研究開発費	28	27	▲ 1	—		

※1株当たり当期純利益は2022年11月に実施した株式分割が2021年8月期の期首からあったものとみなして計算した結果を表示しております。

■売上高

医療業界向け案件の遅延等があったものの、海外飲料メーカー向けの納品が2022年8月期中に完了したことや、RFID関連や防水ケースの特需に支えられ、前年同期比34.3%の増収となりました。

■売上総利益

円安による影響、システムインテグレーション事業の不採算案件の発生により売上原価が高騰することとなりましたが、前年同期比29.8%の増益となりました。

■営業利益

販売費及び一般管理費の未消化により想定よりもコストが少なく着地したことにより、前年同期比76.6%の増益となりました。

■親会社株主に帰属する当期純利益

為替差益を除き、営業外損益や特別損益項目は発生が無く、前年同期比85.5%の増益となりました。

■その他

- ・人件費
将来の成長に備えての人員増加によるものであります。
- ・研究開発費
画像認識技術関係の研究開発費の支出によるものであります。

(3) 上場における調達資金の使途

上場時の新規株式発行による手取り金は、2022年8月31日時点で以下の使途に充当しております。

本資金は全て2023年8月期中に充当する予定になっております。

資金使途	調達額	2022年8月期 充当金額
研究所ビル建設費用	591百万円	356百万円
研究開発・評価設備の取得費用	20百万円	—
研究所ビル建設用地取得のための短期借入金の返済	300百万円	300百万円
その他（有利子負債の返済等）	298百万円	298百万円
合計	1,209百万円	954百万円

(注) 実際の充当期間までは、安全性の高い金融機関等で運用する方針です。

6. リスク情報



	主なリスク	発生可能性	影響度	対応策
事業全般	当社グループの主要な市場である国及び地域の経済環境、社会的及び政治的動向、景気後退による個人消費や民間設備投資の減少によって、当社グループが提供する製品・サービスの需要の減少や価格競争に進展する可能性があります。	低	中	優位な品質とコストを実現するための革新的な新技術の確立を目指しており、特許出願も進めてまいります。
海外生産	当社グループの主力製品AsReaderシリーズは、大半が海外企業のEMS生産となっており、Apple製品用の機器はAppleのMFi認証の認定工場である韓国のSPS社のみ生産が可能です。当該生産拠点においては、予期しない法律や規制の変更、経済的変動及び政治的混乱等のリスク、地震など大きな災害発生リスク、委託企業の経営悪化による生産への影響リスクが存在いたします。	低	大	委託先企業との良好な関係の構築、維持に努めること、生産拠点の分散、生産技術の蓄積、自社生産のノウハウ獲得などの対策を講じてまいります。
品質に関するリスク	当社グループは、新製品も断続的に上市していくこととしています。このような状況下で、従来知見のない品質上の課題が発現し、当該トラブル解決のための費用発生や品質に起因する販売の遅れ、従業員の人為的ミスまたは不測の事態の発生等による保守・製品保証に関する費用の発生などにより当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	中	中	新製品について様々な角度から検証を行い評価する時間を踏まえたプロジェクト管理を行い上市の遅延による損失の回避を行ってまいります。

※事業等のリスクについて、有価証券報告書「第一部企業情報 第2事業の状況 2事業等のリスク」に掲載のリスクの中から、当社が特に重要と考えているリスクを抽出して記載しております。その他の事業等のリスクについては、有価証券報告書「第一部企業情報 第2事業の状況 2事業等のリスク」に記載しております。

下記、取得済み特許の他、出願中の特許も多数

■国内特許


ステータス	対象範囲
特許成立	Magconnの充電がついたリーダー
	キーボードアプリでのバーコード制御ができる
	2つ以上の媒体のカバーを変えることによって使える
	外付けレーザーユニット。PCT出願の日本移行
出願中	23件
特許譲渡済み	6件


■外国特許

特許申請ルート	対象範囲	PCTルート：移行国、パリルート：出願国
PCTルート	AsRingとしての役割。	米国（成立）/欧州（出願中）/韓国（成立）
	外付けレーザーユニット	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（出願中）/韓国（成立）
	RFID棚。電波遮断のための棚の改良。	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（成立・実用新案）/韓国（出願中）
	指差しでのリードユニット。Finger AsReader。	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（出願中）/韓国（出願中）
	AsLock	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（出願中）/韓国（出願中）
	Finger-Type	米国（出願中）/欧州（出願中）
	パスポートリーダー	PCT出願のみ
	3枚羽のアンテナ	PCT出願のみ
	バズーカータイプ	PCT出願のみ
パリルート	2つ以上の媒体のカバーを変えることによって使える。	米国（成立）
	AsRingとしての役割。	中国（出願中）/中国（成立・実用新案）

PCTルート：特許協力条約（PCT:Patent Cooperation Treaty）に基づく国際出願であり、日本国特許庁等の指定官庁に対して出願手続きを行うことにより、条約加盟国全てに同時に特許を出願したのと同じ効果が得られる。

パリルート：パリ条約に基づいて、権利を取得したい国に個別にそれぞれ出願する方法

2013 10 ● **AsReader. 誕生!**
ASX-100R発売 

2014 07 ● **RFIDリーダーライター登場!**
ASX-300R/ASX-30RT発売 (ジャケットタイプのAsReader) 

08 ● ASX-510R発売


2015 01 ● ASX-520R発売

06 ● **DOCK-Type iPhone本体サイズのバリエーションに対応!**
ASR-010D/ASR-020D発売 

10 ● ASR-030D発売

2016 10 ● **AsReader Conference 2016開催**


11 ● 画像認識技術 研究開発開始

12 ● **RFIDリーダーライターとバーコードリーダーの1台2役が登場!**
ASR-0230D/ASR-0240D発売 

2017 03 ● **HID入力も可能な卓上タイプのRFIDリーダーライター**
ASR-P30U発売 

05 ● **10m超の長距離読み取りを可能にした、GUN-TypeのAsReader**
ASR-R250G発売 

08 ● **RFIDモジュールとアンテナを分離した据置タイプのAsReader**
ASR-P50N発売

12 ● **Android用DOCK-Typeバーコードリーダー**
ASR-A11DB発売

2018 04 ● **バーコードのソフトウェアデコーダー。iPhoneがそのままバーコードリーダーに!**
AsReader CAMERA-Type発売 

10 ● **CAMERA-TypeにOCR機能が追加**

2019 01 ● **RFID Reading Tubのベースとなる読み取り装置の特許取得(特許6469758号)**
 **特許製品**

05 ● **As Force発売**

2019 09 ● ASR-P31N発売

11 ● ASR-L251G発売 

2020 02 ● ASR-P51N発売

03 ● **Android用 DOCK-Type RFIDリーダーライター**
ASR-A30D-V2B発売

04 ● **FINGER-Type AsReader**
ASR-023B発売 

06 ● **長距離2Dバーコードリーダー**
ASR-R202G発売

08 ● **ASK通信で自販機と通信が可能に!**
Android用 ASKリーダー
ASR-A60D発売

08 ● **AsBeacon ASA-401T発売**

08 ● **AsReader Conference 2020開催**



10 ● **動体追跡技術の開発に成功**


2021 03 ● **動体認識技術を活用したセルフレジを発表**


06 ● **Wired BOX-Type**
ASR-032W発売


2021 07 ● **画像認識による特定エリアへの侵入検知**
AsWatcher発売


2022 04 ● **カメラの映像情報を用いた人物追跡**
AsRegi+ 発売


04 ● **Android端末のバーコードリーダー**
ASR-A24D発売 


04 ● 「人物特定&認証」のクラウドサービス
AsReader One発表 **特許 出願中**

05 ● **AsReader Care SELECT提供開始**

06 ● **Count Pearl/Count Pipe カウントアプリ発売**


10 ● **AsReader GoMA発表** **特許 出願中**


2023 02 ● **高い場所、隙間などの読み取り**
PADDLE-Type
ASR-P252B発売予定 

MORE 

● バーコード ● RFID ● 画像認識 ● イベント ● その他

DXをさらに進化させるAsReader

IoT × **AsReader**® 

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

アスタリスクはIoTを中心にお客様の業務をよりよく改善する
お手伝いをさせていただきます。

株式会社アスタリスク